

面構 片岡球子展 たちむかう絵画

開催期間：2023年1月1日（日・祝）～2023年1月29日（日）

展覧会概要

片岡球子の「面構」が勢ぞろい。

片岡球子<1905（明治38）年—2008（平成20）年>は、北海道札幌市生まれ。1926（大正9）年女子美術専門学校日本画科高等科を卒業後、神奈川県横浜市の大岡尋常高等小学校（現横浜市立大岡小学校）に勤めながら創作を続けました。日本美術院の再興第17回院展に25歳で初入選、のちに同人へと推挙され日本画家としての地位を確立。1955（昭和30）年に小学校を退職し、母校女子美術大学日本画科にて教鞭をとり、1966（昭和41）年愛知県立芸術大学開校を機に同校の日本画科主任教授となりました。1989（平成元）年、文化勲章を受章。

再興第51回院展より開始した「面構」シリーズは、1966年から2004（平成16）年までの38年間で44点を出品、片岡球子のライフワークとなりました。『面構は顔だけを描いているだけではなく、その人間が現代に生きていたらどんな風に役立つかなどと、思いながら描いています。』片岡球子の言葉にあるように、「面構」は単に歴史上の人物の肖像ではありません。人間の「魂」を描きたいと考えた片岡球子を取り組み続けた作品です。綿密に取材・推敲を重ね確信をもって血肉のある人間に仕立てあげています。

本展は、迫力ある「面構」シリーズ42点と初公開の小下図、「面構」の出発点となる作品などを展示する大変貴重な機会となります。片岡球子が生涯をかけて挑んだ「面構」——「たちむかう絵画」から、日本画の持つ力と新たな可能性をぜひ感じてください。

展覧会のみどころ

① 片岡球子とは？

片岡球子は、昭和から平成にかけて活躍した日本画家で、文化勲章を受章しました。「富士」や「面構」が代表作で、大胆な構図、鮮やかな色彩の強烈な作品によって日本画の新たな可能性を示しました。

また、30年間横浜市立大岡小学校で教員を務め、1970（昭和45）年から2008（平成20）年に103歳で逝去するまで富士山を臨む藤沢市に居住するなど、神奈川にゆかりのある作家です。

② 代表作「面構」シリーズのみで構成する初の展覧会。

本展では、片岡球子のライフワーク「面構」の再興院展出品の大作が空前の規模で集結します。

「面構」は、1966（昭和41）年から始めたシリーズで、将軍の足利尊氏や浮世絵師の葛飾北斎など多くの歴史上の人物を片岡独自の解釈で表現しました。

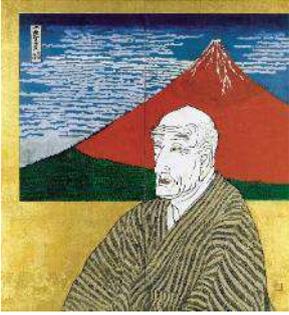
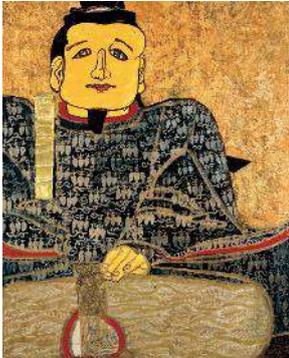
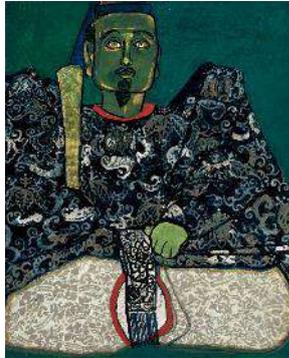
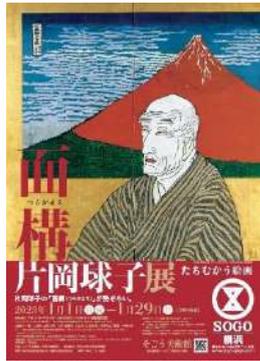
展覧会に合わせて「面構」を網羅した図録も発売されます。

③ 初公開の小下図など資料を展示。

本展では、初公開の片岡球子の小下図やスケッチを展示します。

本画と小下図を見比べることで片岡の制作の軌跡を辿ることができます。

広報用画像一覧

 <p>《面構 葛飾北斎》 1971（昭和46）年 神奈川県立近代美術館蔵</p>	 <p>《面構 歌川国貞と四世鶴屋南北》 1982（昭和57）年 東京国立近代美術館蔵</p>	 <p>《面構 狂言作者河竹黙阿弥・浮世絵師三代豊国》 1983（昭和58）年 神奈川県立近代美術館蔵</p>	 <p>《面構 浮世絵師歌川国芳と浮世絵研究家鈴木重三先生》 1988（昭和63）年 北海道立近代美術館蔵</p>
 <p>《面構 安藤広重》 1973（昭和48）年 神奈川県立近代美術館蔵</p>	 <p>《面構 足利尊氏》 1966（昭和41）年 神奈川県立近代美術館蔵</p>	 <p>《面構 足利義政》 1966（昭和41）年 神奈川県立近代美術館蔵</p>	 <p>《面構 足利義満》 1966（昭和41）年 神奈川県立近代美術館蔵</p>
 <p>《歌舞伎南蛮寺門前所見》 1954（昭和29）年 成田屋蔵</p>	 <p>《面構 浮世絵師歌川国芳と浮世絵研究家鈴木重三先生》小下図</p>	 <p>チラシ表</p>	 <p>片岡球子肖像写真 ©相澤 實</p>

展覧会概要

会期	2023年1月1日(日・祝)～2023年1月29日(日)
会場	そごう美術館
住所	神奈川県横浜市西区高島2-18-1 そごう横浜店 6階 Google Map
展示室	そごう美術館(横浜駅東口・そごう横浜店6階)
時間	午前10時～午後8時(入館は閉館の30分前まで) ※1月1日(日・祝)は午後6時閉館。 ※そごう横浜店の営業時間に準じ、変更になる場合がございます。
休館日	会期中無休
観覧料	【事前予約不要】 一般1,400(1,200)円、大学・高校生1,200(1,000)円、中学生以下無料 *消費税含む。 * ()内は、前売および以下をご提示の方の料金です。 [クラブ・オン/ミレニアムカード、クラブ・オン/ミレニアム アプリ、 セブンカード・プラス、セブンカード] *障がい者手帳各種をお持ちの方、およびご同伴者1名さまは無料でご入館いただけます。 *前売券は、2022年12月31日(土)まで、そごう美術館またはセブンチケット、 ローソンチケット、イープラス、チケットぴあにてお取り扱いしております。 ※新型コロナウイルス感染予防に関する対応につきまして、ご理解・ご協力を賜ります ようお願い申し上げます。 ※ご入館前に、そごう美術館ホームページ・会場入口掲示の「ご入館の際のお願い」を ご確認ください。 ※展覧会・イベントの中止や延期、一部内容が変更になる場合がございます。 ※最新情報は、そごう横浜店・そごう美術館ホームページをご確認ください。
TEL	045-465-5515 [美術館直通]
URL	【そごう美術館 公式サイト】 https://www.sogo-seibu.jp/common/museum/
SNS	https://twitter.com/sogomuseum
主催	そごう美術館、神奈川新聞社
特別協力	神奈川県立近代美術館
後援	神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会
協賛	(株)そごう・西武
広報	そごう美術館
問い合わせ先	大塚 (yasuko-otsuka@sogo-seibu.co.jp)、市塚 (hiroko-ichitsuka@sogo-seibu.co.jp)、 寺田 (masako-terada@sogo-seibu.co.jp)、三瓶 (hiroyuki-sampe@sogo-seibu.co.jp)